

## 宮沢賢治プロフィール

- 1896年 岩手県花巻市に生まれる。実家は県内でも有数の質屋を営んでおり裕福な幼少期を送る。
- 1921年 花巻農学校で教師をしながら創作活動に励み、詩や童話を発表する。
- 1926年 農学校を退職し、農民の生活向上を目指し「らすちじんきょうかい羅須地人協会」を設立。近隣の農民へ農業指導を行う他、夜は詩の朗読会やレコードの鑑賞会を開くなどの活動を行う。
- 1933年 37歳の若さで亡くなる。  
生前に膨大な量の作品を残すが、出版された本は詩集『春と修羅』と童話集『注文の多い料理店』の2点だけであった。死後、ファンを増やし現在では多くの人に愛されている。

## まどかぴあ図書館おすすめ宮沢賢治作品リスト

『銀河鉄道の夜』 清川 あさみ/絵 リトルモア	『カイロ団長』 こしだ ミカ/絵 三起商行
『土神ときつね』 大畑 いくの/絵 三起商行	『どんぐりと山猫』 いもと ようこ/絵 金の星社
『双子の星』 遠山 繁年/絵 偕成社	『雨ニモマケズ』 柚木 沙弥郎/絵 三起商行
『よだかの星』 小林 敏也/画 好学社	『風の又三郎』 やぎ たみこ/絵 三起商行
『シグナルとシグナレス』 小林 敏也/画 パロル舎	『グスコブドリの伝記』 司 修/文と絵 ポプラ社
『十力の金剛石』 福武書店	『春と修羅』 宮沢賢治コレクション⑥⑦⑧ 筑摩書房
『ポラーノの広場』 みやこし あきこ/絵 三起商行	『注文の多い料理店』 和田 誠/絵 岩崎書店
『フランドン農学校の豚』 nakaban/絵 三起商行	『おきなぐさ』 陣崎 草子/絵 三起商行
『ゼロ弾きのゴーシュ』 佐藤 国男/画 子どもの未来社	『鹿踊りのはじまり』 ミロコマチコ/絵 三起商行
『やまなし』 アーサー・ビナード/英訳 山村浩二/絵 今人舎	『雪わたり』 とよたかずひこ/絵 岩崎書店
『なめとこ山の熊』 あべ 弘士/絵 三起商行	『水仙月の四日』 黒井 健/絵 三起商行
『オツベルと象』 宮沢賢治童話全集7 岩崎書店	『ひかりの素足』 赤羽 末吉/絵 偕成社
『氷河ねずみの毛皮』 木内 達朗/絵 偕成社	『 <small>かんじゅうこうえんりん</small> 虔十公園林/ざしきぼっこのはなし』
『山男の四月』 飯野 和好/絵 三起商行	はた こうしろう/絵 岩崎書店

## ～館内特集～

# 賢治さんの世界をのぞいてみよう

作家という顔は宮沢賢治のほんの一部でしかありません。  
幼いころから様々なことに関心を寄せていた彼は、教師・科学者・  
詩人・宗教家など多彩な顔を持っていました。  
そんな賢治が愛した「星・鉱物」「自然」「スローライフ」という  
世界をテーマに、おすすめの本を紹介します。  
賢治の世界を一緒にのぞいてみませんか？



ほん  
おすすめの本を  
しょうかい  
紹介しているよ

2023年  
図書館へよう!!

大野城まどかぴあ図書館 令和5年10月作成

## 星・天体・鉱物

子どものころから石や鉱物を集めるのが好きで「石コ賢さん」と呼ばれていたそうですが、星空を眺めるのも大好きで、昼間も見えない月や星を想像して見ていたそうです。

### 『土神ときつね』

宮沢 賢治/作 大畑 いくの/絵 三起商行【E/ツ】

愚かで美しい樺の木、正直者で気性の激しい土神、優しいけれど嘘つきなキツネの三角関係のお話です。壮絶な終わりを迎えてしまうのですが、深く心を揺さぶられます。賢治の天体の知識が深いことが良く分かるお話でもあります。



『星空がもっと好きになる』  
駒井 仁南子/著  
誠文堂新光社  
【443/コ】

星の見方や星座をはじめ、写真の撮り方や望遠鏡の使い方まで分かりやすく書かれています。すぐに星空を眺めたい一冊です。



『自然散策が楽しくなる！  
岩石・鉱物図鑑』  
川端 清司/監修  
池田書店  
【458/シ】

日本に分布する鉱物や岩石などについて解説しています。自然の中で見つけることが出来る石を、散策しながら探してみたいかがでしょうか。

## ～賢治さんの世界をもっと知ろう～

身近な自然を見つめ多くの言葉を残した賢治は、幼い頃から野山を歩き自然に心を寄せていました。教師時代の授業では教え子を連れて自然の中での実習も多く、作品からは現代の環境破壊に通じる言葉も読み取れます。



『自然をこんなふうに見てごらん』  
澤口 たまみ/著  
山と溪谷社  
【910.2/ミ】

自然を表現する賢治の言葉は、幻想的で素敵で時に鋭い未来予測をしています。それらの言葉を作品から取り出して美しい写真とともに紹介しています。



『宮沢賢治の地学読本』  
宮沢 賢治/作  
柴山 元彦/編  
創元社【450/シ】

地学教師だった賢治がその知識を存分に活かした五作品を、詳しい脚注と地学的解説と共に紹介しています。



### 『風の又三郎』

宮沢 賢治/作 やぎ たみこ/絵 三起商行【E/カ】

谷川の岸にある小学校に、風の精とおぼしき転校生がやってくる有名なお話。東北に冷害をもたらす偏西風を地球規模でとらえ、風の法則があることが語られています。お話を書くにあたり、風の動きに関心を寄せていた賢治は岩手県の緯度観測所で生の観測データ等を調べたそうです。

## スローライフ

動物も植物も世の中に「つまらない存在などない」と強く考えていた賢治さん。自然との共生を望み、お互いを尊重しあい、誰もが自分らしく生きることのできる世界を実現しようと懸命に生きていました。

### 『雨ニモマケズ』

宮沢 賢治/文 アーサー・ビナード/英訳  
山村 浩二/絵 今人舎【V726.6/ヤ】

風 雨  
ニ ニ  
モ モ  
マ マ  
ケ ケ  
ズ ズ

アーサー・ビナードの英訳とともに、優しい絵で表現されています。賢治の理想を描いたとされる詩は、現代を生きる私たちにとっても、そうありたいと願う詩ではないでしょうか。

### 『コップひとつからはじめる自給自足の野菜づくり百科 楽しい自給自足の本』

はた あきひろ/文・イラスト 内外出版社【626.9/ハ】



気軽にお庭やバルコニーで野菜を育てる方法がイラストつきで分かりやすく説明されています。うちでゆっくり過ごす時間の中に、自分だけの自給自足生活を取り入れてみませんか。

### 『おうちで作れるカフェの朝食』

～人気カフェの看板メニューレシピ集～  
山村 光春/監修 世界文化社【U596/オ】



おうちがカフェになる魔法のようなレシピ集です。ていねいな暮らし方、上質な時間の使い方を考える時に、おすすめしたい一冊です。おうちカフェでゆっくり豊かな朝を過ごすヒントがたくさん詰まっています。